

がん治療薬選択のための支援システムに関する研究

1．研究の対象

がん遺伝子パネル検査を受けられた方

2．研究目的・方法

令和元年より標準治療を終えたがん患者さんの生体組織を用いてがん遺伝子変異を精査するがん遺伝子パネル検査が保険適用されています。しかし、がん遺伝子変異の情報は多岐にわたり複雑であるため、がん遺伝子変異情報から効率よく治療薬候補を絞り込む支援ツールが求められています。そこで本研究では公開されている薬剤や遺伝子変異に関するデータベース情報を集約し、がん遺伝子パネル検査から得られる情報や投薬履歴などから容易に患者さんの治療方針にあった候補治療薬を選択できる支援システムを開発します。

また、本研究で得られた研究成果は、日本電気株式会社が実施する支援システムの開発に用いられることがあります。

なお、研究期間は研究機関の長の許可日から 2023 年 3 月 31 日です。

3．研究に用いる試料・情報の種類

情報：病名、がん遺伝子パネル検査の結果、投薬履歴情報、等
患者情報は匿名化した上で、解析を行います。

4．利益相反について

本研究は日本電気株式会社が出資する共同研究講座で実施し、同社の社員も共同研究員として参加します。また、解析結果は同社に提供しますが、その元となったデータは提供しません。

研究を行うときにその研究を行う組織あるいは個人（以下「研究者」という。）が特定の企業から研究費・資金などの提供を受けていると、その企業に有利となるように研究者が研究結果を改ざんあるいは解釈したり、また都合の悪い研究結果を無視するのではないかという疑いが生じます。（こうした状態を「利益相反」といいます。）

この研究における利益相反は、大阪大学大学院医学系研究科・医学部臨床研究利益相反審査委員会による審査を受け、承認を得ています。我々はその審査結果に基づき、利益相反を適正に管理して研究を行います。

5．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立大学法人大阪大学 大学院医学系研究科 ゲノム情報学共同研究講座 小林 香織

住所：〒565-0871 吹田市山田丘 2-2 電話：06-6210-8364

研究責任者：

国立大学法人大阪大学 大学院医学系研究科 医療情報学 武田 理宏